

# 3500組の結婚式の司会から見えた 本当の感動とおもてなしの結婚式

## 「心にしみたセレブウエディング」出版

(株)ハセガワエスティ 代表取締役会長 長谷川高士氏

結婚総合プロデューサーとしてメディアにも出演している長谷川高士氏。その実力は著名な芸能人や文化人などの結婚式にまでおよび、国内外問わず活躍している。そんな中、司会で感じた本物の結婚式の姿や、結婚式に向き合うことの素晴らしさ、そして人生をリセットさせることができる結婚式の力の存在など、セレブのウエディングを通じて感じたエピソード集が完成した。



### ▶長谷川会長にとって婚礼司会者とは何ですか？

婚礼司会かけだしの17、18年前に司会をしたカップルの旦那さまから、奥さまがガンで余命いくばくもないことを聞かされ、奥さまの葬儀のときに司会をお願いしたいというご連絡をいただきました。奥さまもご自身の余命がわずかなことをご存じで、旦那さまとお葬式の打ち合わせをされていたようです。そのとき“私は葬儀の司会の経験がありませんので”とお断りをしたのですが、どうしても私に司会を依頼したいというのです。それは“家内が一番きれいなきを知っているのは長谷川さん”という理由からでした。このとき、婚礼司会者の大切さを改めて感じ、楽しくて華やかなことは婚礼司会者として大切なことですが、それ以上に自分は“人生最高なときの証人”として、すべてを見たり、いろいろなことを表現しなくてはならないと思ったのです。

### ▶最高なときにかける熱い思いが15年で3500組という実績を生み出したのですね。

ほんとうにこれまでいろいろな結婚式に出会ってきました。その中でも、芸能人や文化人の方々の結婚式との

出会いにより、本当の感動やおもてなしの結婚式の素晴らしさを知りましたね。

### ▶具体的にはどのようなことですか。

本当にご招待される方のことを大切に考え、ご招待される方にご満足いただける結婚式を作り上げるために真剣に向き合っています。芸能人や文化人、セレブと聞くと、豪華な派手なというイメージを持たれるかと思いますが、感謝の気持ちをきちんと伝えたいと、さまざまな形で表現されています。例えば幸せの四葉のクローパーをお二人で探し、それを集めたウエルカムボードでゲストをお迎えしたり、祖父から母へ、母から娘に思いを込めたリングを渡したりなど、セレブでなくてもできる感謝の気持ちを表現しています。またゲストを気づかう姿勢は皆さま共通しています。まさにおもてなしの心であり、逆にだからセレブになれるんだ、と思いましたね。

### ▶今は自己中心的で価格が先行し、ゲストへのおもてなしが欠けているような気がします。

すべての方がそうではありませんが、著書を通じて、おもてなしの大

切さ、そして結婚式は人生をリセットできる力を持っていることに気づいていただければと思います。お招きするいろいろな方を気づかい、そして感謝の気持ちをきちんと表現することで自分の人生を変えることができます。たとえこれまで相手を思いやる気持ちに欠けていたとしても、結婚式をきちんと行なうことでゲストからの見方も変わるからです。

### ▶結婚式を機に自分を変えられるということは素晴らしいことであり、ウエディング業界としてもその役目をこなす、素晴らしい仕事であることに気づいてほしいですね。

そうですね。自分たちをお互いに確認し、そしてこれからの人生の方向性を見出すためにも結婚式は重要なタイミングです。ぜひ、多くの方に感動のウエディングエピソード集を通じて、結婚式が持つ力を認識していただき、一組でも多くのカップルに結婚式を機に、新たな人生をつかんでほしいと思います。